

発行：チボリ国際里親の会事務局編集部
 事務局：〒110-0016 東京都台東区台東1丁目25-16 大熊ビル205
 TEL.03-3835-1545 FAX.03-3835-1546 IPTEL.050-1371-1541
 URL：http://www.jofpa.org E-mail：jofpa-tokyo@jofpa.org

- 1 ……巻頭言「苦境が育てるもの」
- 2～3…チボリとの合同会議および交流会
- 2 ……理事会報告
- 3 ……役員改選のご案内
- 4 ……バザー報告
JOFPA大学奨学生からの手紙
- 5 ……会員のひろば
- 6 ……事務局便り



学校に行けないフィリピンの少数民族(チボリ族)の子どもたちを精神里親制度で支援しています

巻頭言

苦境が育てるもの

会長 南 昌宏

住む所も家も持てず、どこか病気を抱え、重苦しい疲れ果てた表情で、わが家の玄関に立つ方が時々いらっしゃいます。「どこそこに行く途中だが、おなかかすいたので何か残り物を」と、遠慮気味に頭を下げられます。またある時は、雨の降る中をずぶぬれになりながら訪れて、「軒下でいいから休ませてほしい」と頼まれることもあります。

生死にかかわる助けがいるはずですが、多くの方は、「何か手伝える仕事をさせてもらえないか」と労働を請われるのです。

こういう時私は、庭の草取りや掃除、庭木の手入れをお願いすることにしていきます。

そして、私も一緒に草取りをしながら、どうしてこのような境遇を抱えたのか、などなど身の上話を聞かせていただいています。

人は縁によって病苦を背負い、頼る人も身を休める家も、食べる手段も失って、あすの命さえも知れない日々にかかることがあります。



路上で遊ぶ子どもたち

2、3時間誠意を尽くされたその方は、わずかなお礼に笑顔で応えながら、尊厳ある背中を見せて去って行かれます。

そのたびに、私は涙とともに人の在り方を教えてもらっています。



登校する友達を横目に、家事をしなければ生きていけない馬上の子には、きげんとした表情が満ちている

苛酷な境遇をだれのせいにするでもなく、逃げることもなく、その苦しみをバネに人は生きていけるものだと思います。

終戦後の私たちがそうしてきたように、チボリの方々も、私たちとともに苦難を乗り越えてきた今、子どもたちのあすを語りあえるまでになりました。

苦しみ悲しみは、喜び以上に人を育て、生きる意味と味わいを深めてくれます。

現地の方々の努力と、私たちの支援で教育がゆき届き、たとえ、経済的暮らしが豊かになっていこうとも、「生きることは苦なり」はどこまでも付きまっています。その苦を取り除くことが、人間の生きる目的でも支援でもないということを、私たちもチボリの方々も、共に学び合いたいと思うのです。

それが苦しみを縁として出会った両者の、人間としての育ち合いであり、喜びではないでしょうか。

5月、現地の方々との合同会議と交流会が、そのよい機会となることでしょう。

現地SCMSIとの合同会議および交流会

現地SCMSIのマリア・L・ガンダム理事長と他2名（JOFPA大学奨学生、現地でリーダー的存在として活動している元JOFPA里子）を招待する件に関し、現地より右記の来日者リストが届きました。

また、日程(案)にあります会員との交流会は、大阪、山口、東京の3地域になります。遠くからのご参加になる方も多いかと思いますが、ぜひ、現地の方と直に触れ合っただけであればと思います。

会場等の予約はこれからになりますので、詳細はチボリニュース5月号に掲載します。ご覧になり、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。



デコロンハイスクールの教員室の様子

理事会報告

2009年11月6日(金)事務局にて理事会が開催されました。事務局より、半期の収支及び会員状況について下記の報告がありました。

*会費収入が予算に比較し減少済み

*支出はほぼ予算どおり

*新入会員口数： 9口、退会口数： 19口

*正会員口数： 689口、賛助会員口数： 101口

協議事項：

1. クリスマス寄付

今年度の現地へ送金する子どもたちへのクリスマス寄付は、予算どおり20万円を送金することが承認された。

2. 2010年度に開催される現地との合同会議と交流会

(1) 実施期間

2010年(H22)5月23日から28日の5泊6日。滞在日程は、現地の要望を確認した上で、次回(3月26日)の理事会で決定する。

(2) 費用

①3人の渡航費、国内移動費、宿泊費、通訳等
人件費、その他で約65万円。(法人化基金より支出)

②ホームステイを引き受けていただく方に、宿泊経費(主に食事代)として宿泊者一人につき1泊千円を支払う。

(3) 協議事項

下記の事項を協議するため、現地の意見を2月末までにJOFPAに回答を提出するようお願いする。

①30年間の支援で、現地はどのように変化したか。(衣食住、学校教育、環境、産業、人々の生活意識など)

②未就学児の実態とSCMSIの就学支援(救済)計画の有無

③公立化が進むことでSCMSIの役割はどう変わるか。

*SCMSIは公立化100%までの橋渡し役で終

了するのか。

*公立化しても、SCMSIの私学として存続するのか。

④教育による人材育成が、地域社会(少数民族)にどんな影響(効果)をもたらしているのか。

⑤3年の支援契約終了後、SCMSIは経済的自立経営の対策をどのように考えているのか。そのための問題点は何か。

⑥経済的支援という一方向の関係だけでなく、共助共生という双方向の助け合い関係へと発展させたい。そのために、両者はどんな活動が考えられるか(提案)

(4) 日本での受け入れ・広報

大阪、山口、東京での交流会にかかわる世話・担当者は、各地の支部長が窓口となるようお願いする。

3. 3年契約更新の手続き

内容が確認され、会長により署名された。

SCMSI側の署名を得るために現地へ郵送する。

4. 事務局スタッフ

事務局スタッフとして飯塚裕子さんが雇用されることが承認された。今後は、3人のスタッフが交代で事務局を担当(1日1人体制)する。人件費は当初の予算の範囲内とする。

5. 平成21年度の役員改選及び総会

会則により、来年6月をもって、現役員が2年間の任期満了となる。この役員改選に先立ち、選挙管理委員として吉永洋子さん(東京都会員)と長崎すみ子さん(神奈川県会員)の2名が選出された。

第30回総会は、2010年(H22)6月12日(土)開催予定とする。

次期理事会は、2010年(H22)3月26日(金)11時より開催される。(記 関根)

来日者

1. マリア・L・ガンダム (女) SCMSI理事長
2. ジョッサニ・パスター (女)
(現大学奨学生、サンペトロ大学3年)
3. ボヤット・タワラン (男)
(元大学奨学生2007年卒業
現在SCMSIレムエヘク小学校教師)

日程(案)

- 5月23日(日) 関西空港着
5月24日(月) 09:00~14:30 理事との合同会議(大阪)
夕方 大阪にて会員との交流会
5月25日(火) 午前 山口へ移動
午後 山口県立華陵高校にて講演・交流会
夕方 会員との交流会
5月26日(水) 山口より東京へ移動
5月27日(木) 午後 東京にて会員との交流会
5月28日(金) 成田空港から帰国

役員改選のご案内 会長 南 昌宏

過去2年間、本会の運営に当たってまいりました理事が、会則により、本年6月の総会をもって2年間の任期満了となります。会員の皆さまのご協力に感謝申し上げます。

今回の新役員5名の選出にあたっては、十分な見識と実行力を兼ね備えた理事の選出ができますように、改めて皆さまのご協力をお願いいたします。

この役員改選に先立って、選挙管理委員2名が、理事会で選出されましたのでご紹介します。今後、事務局と協力して、つつがなく改選作業を進めていただけるものと期待しています。

◎選挙管理委員 吉永洋子さん、長崎すみ子さん

お2人とも民芸品のバザーや古切手の整理などで、いつも積極的にお手伝いをいただいております。

自薦・他薦、ふるってご応募ください

—立候補受付期間3月1日~3月21日—

選挙管理委員会

<理事立候補の方法>

- ①右の書式により作成・記入した「候補者届出票」を、選挙管理委員会(事務局気付)にお送りください。
掲載されている右の届出票をそのまま拡大コピーしてお使いいただくこともできます。
- ②届け出方法及び期間：
ファックス、郵送またはEメールにより、平成22年3月1日(土)~3月21日(金)の間に送付ください。
- ③なお、他薦の場合は、あらかじめご本人の承認を得てから、別紙を作成し届け出てください。

<理事選出までの日程>

- ①立候補者の公示：
5月号チボリニュース
- ②会員による選挙：
同ニュースに同封するはがきにより投票する。
投票締め切りは、5月31日(当日消印有効)
- ③投票結果のまとめ：
選挙管理委員により、各候補者について、上位5名が選出され理事として、第30回総会で、会員の皆さまの承認を受けます。

候補者届出票

チボリ国際里親の会
選挙管理委員会 殿

私は、このたび実施される『理事選挙』の理事に立候補いたします。

平成22年 月 日

氏名 ㊟

年齢： 性別： (会員番号：)

現住所 〒

電話：

活動歴：(本会以外の市民活動・NGO活動も含めて)

抱負

(推薦者がある場合)

推薦理由

推薦者名 ㊟ 会員番号：)

山口県国際交流協会創立20周年記念イベント

山口支部長 山田伊津子

参加しました！「チボリ国際里親の会山口支部として参加いたしました。県内50くらいの団体が参加しての記念講演他、たくさんの企画の中チボリの会としては活動紹介や写真の展示、里親の募集、バザーと地味な中にも存在感を示しました。

右隣の「ケニアを知る会」が彩りの派手なたくさんさんの雑貨を展示販売していたので、足を止める子ども連れも多く内心心配でしたが、中高年の方がポツポツとチボリ商品も買ってください、お手伝いをしてくださった伊藤さんともどもホッとしました。南会長が持参された地図を張っておいたら、熱心にチボリの会が山口県の宇部市で始まった時に事務局を手伝っていたという人たちも2人も足を止められ、懐かしがっておられました。

また、「山口ナバラの会」の事務局より、さまざまなロゴの入ったエンピツでよければ1,000本ぐらい寄付してくださるとのありがたい申し出をいただき、チボリの子どもたちがどんなに喜ぶか

とルンルン気分になりました。

このたび参加したことで、チボリのほかにも満足に小学校さえいけない子どもたちが世界にはまだまだたくさんいることを改めて認識し、義務教育だけは誰でも受けられる日本の子どもたちの幸せを思ったことです。チボリも早くこうなるといいですね。



(ボランティア参加 伊藤和子さん)

杉並区阿佐谷のおさしの教会バザー

11月3日に東京杉並区にあるむさしの教会のバザーではティナラク織のバッグや、アクセサリーを販売しました。今回はボランティアの方たちが心をこめて作ってくださったクリスマスカードも初めて販売し、完売しました。ある小学生の女の子が、チボリの同じ小学生のためにと小銭入れからさぐり出すようにしてブックカバーを買ってくれた気持ちを嬉しく思い、印象的でした。

(ボランティア参加 武田とよ子さん)

YWCAバザー

12月5日に開催された東京御茶ノ水にあるYWCAクリスマスイベントに参加しました。‘Christmas for Peace’というテーマにふさわしいパフォーマンスがバルコニーで繰り広げられ、優しい空気に包まれた展示会場で、参加者や訪れる方たちにチボリのメッセージも伝わったように思います。

(ボランティア参加 鈴木光江さん、武田とよ子さん)

JOFPA大学奨学生からの手紙



ミンダナオ州立大学 2年
レバート・M・ウロ
里親：中西政山さま（奈良県）

親愛なるお父さん、こんにちは！

私は今第2学年の1学期を終わろうとしていると、あなたにお知らせできることをうれしく思います。2学期の準備はできていますが、この10月に期末試験がある予定です。読書をしたり授業の勉強をしたりして時間を過ごしています。良い成績を目指すという目標をいつも持っています。そのために全力を尽くしています。

9月22、23日に、ある科目（作物科学1）の

2回目の実習がありました。それはダバオ・デル・ノルテのカルメル・バンサラ山で行われました。この実習は、現代的農園を訪問して、この種の農園を維持するために用いられている技術がどんなものであるか知るためのものでした。農園の維持の仕方の背景や知識を学ぶのに興味を持っています。いつか自分の農園に応用するためにです。

私はこの実習を楽しみ多くのことを学びました。いい経験でした。

お父さん、支援を続けてくださることに大変感謝しています。あなたがいつも元気であるように祈っています。

神の祝福がいつもあなたとご家族の上にありますように！

会員のひろば

三井摂子 (東京都)

大学奨学生からの手紙をお送りいただきありがとうございます。毎月1通届きますので返事を書きたいと思っていましたが、遅れ遅れにやっと書きました。チボリニュースなどもありありがとうございました。

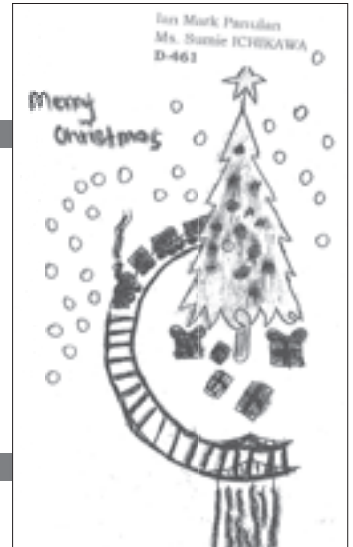
早速、奨学生の青年にはクリスマスカードを送ります。また、少しですが切手をお送りします。

★お返事に込められた思いを里子もうれしく受け止めていることでしょうか。古切手もありがとうございました。

大友孝子 (宮城県)

いつも大変お世話になっております。今年は自分のことで精一杯、頭が働かず年と疲れを感じる事が多く、ご協力をおろそかにしてすみません。いよいよ寒さも増してきました。風邪に気をつけられますよう。お体を大切に。

★こちらこそよろしくお願いたします。めっきり寒くなりました。どうぞお元気で。



レムエヘク小学校5年生
イアン・マーク君からの
Xmasカード

石本幸江 (広島県)

今年も現地の子どもたちへクリスマスカードを送らせていただきます。プレゼントの代わりに雌と雄の折鶴を入れてみました。フィリピンの子どもたちが意味を理解できるかどうか不安ですが。

★いつもたくさんのお送りくださりありがとうございます。折鶴が幸せと長寿を願う日本独特のものであるという説明を加えて送らせていただきました。

佐藤美香・康介の母より (兵庫県)

先日はクリスマスカードの案内をありがとうございました。康介も高校1年生になり、世界のいろいろな国の状況にも興味を示し、こんなに大きくなっているのだと感慨にふけりながら、お手紙を読み、カードを書いていました。本当に少ししか、援助できませんが、何かに役立っていたらと思います。催促するわけでもなく、細々と良心的に活動されていることに、いつも頭が下がる思いです。あえて、この小さな団体を選んだ訳も息子に話しました。

★支援をしてくださる方々の愛情が力となり、里子の成長を見守っていけることに感謝しています。



ベネフ小学校4年生
フランセス・ランゴンちゃんからの
Xmasカード

鈴木淑子 (神奈川県)

いつも会報をありがとうございます。少々ですがクリスマス献金を同封します。よいクリスマスと新年をお迎えください。会のためにお祈りいたします。

★ありがとうございます。

小島綾子 (滋賀県)

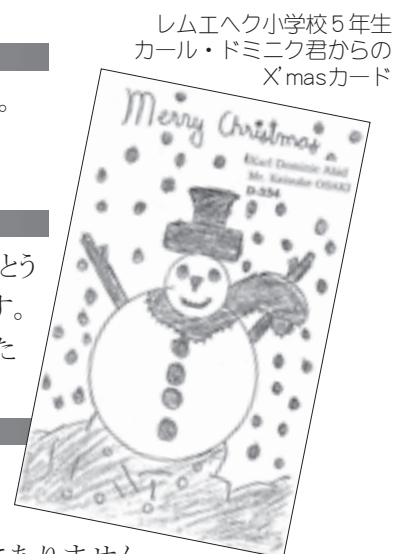
お寒くなってまいりました。里子ピアちゃんの成績表、お手紙、お写真ありがとうございました。子どもの成長の早さにおどろき、今年も1年が過ぎたのかと思います。

★里子がすくすくと育っていく様子をこれからも見守って下さることに感謝いたします。

新川馨 (福岡県)

正月にJOFPAホームページからチボリ訪問ビデオをダウンロードしてゆっくり見る事ができました。若いころには、一度現地に行きたいと思っていましたが定年も過ぎ、もうすぐ高齢者(65歳)の仲間入りになりますのでもう行けそうにありません。会報でしか得る情報がない私にとっては、ビデオはどれも新鮮な情報であり、楽しく見る事ができました。これからも、行かれる方がいれば、こういうかたちの、情報提供をお願いしたいものです。

★楽しみに見てくださる方がいらっしゃることを実感し、うれしく思います。



レムエヘク小学校5年生
カール・ドミニク君からの
Xmasカード

事務局便り

■JOFPA大学奨学生スポンサー募集!

2010年6月から始まる、大学奨学生(里子)をご支援して下さるスポンサーを募集しています。年額42,000円。詳細は事務局まで。

■クリスマス寄付送金

昨年12月、クリスマス寄付20万円を現地へ送金し、子どもたち全員にTシャツがプレゼントされました。ご協力ありがとうございました。

■現地から届いたバイオデータの里子の写真

現地のプリンターインク不良から、一部不鮮明な写真が届きました。現地に報告し、元データで送ってもらうよう依頼してあります。再度送付をご希望の方はお手数ですが事務局までご連絡ください。



子どもたちの笑顔

■退任のお知らせ

高知県の矢野邦夫支部長が退会され、高知県支部長も退任されました。

■愛知県支部長の訃報

昨年12月3日、愛知県の支部長・金木京子さんが逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

お二人の支部長さんの長年の会へのご協力とご尽力に感謝いたします。



民族衣装姿の子どもたち

■事務局の3月からの勤務体制

(1日1人体制)

月曜日	飯塚裕子
火・水・金曜日	関根千恵子
木曜日	溝口道代
月1回	ボランティアデー

JOFPAへのご支援・ご協力ありがとうございます。 敬称略(2009年10月21日~2010年1月20日)

お名前掲載を希望されない方は、お手数ですがその旨事務局までご連絡をお願いいたします。

■新入会員 (< >内はご紹介者又は入会のきっかけ)

栃木県・佐藤静子<迎岱子>

■ご寄付者 (ご寄付・随時ご協力の賛助費についてお名前を紹介させていただきます)

秋本光代、荒木のり、安藤美知子、井上強、井上正雄、入江英佐子、江川広子、大坂照代、太田れい子、沖野和利、尾崎富士男、河田洋子、河野三郎、北浦千夏、五井早苗、佐藤静子、志村信夫、Matthew Schultz、鈴木静代、鈴木淑子、杉山幸子、関根栄・千恵子、関根幸重、園田多代子、田井和子、田浦記子、高井和子、高巢政子、田中美智子、田村幸子、千葉賢・宏子、戸井田爾、富江崇、富永正子、中澤恵子、中村美知子、南条文伸、橋本あき応、反納新一、日名恵次、平賀貴久子、平松昭子、平山妙子、福寿恵美、福田昌佳、まこと幼稚園、松谷桂次、水口道子、南昌宏、美山紀世、宮脇和子、森崎純子、山崎美代子、山田茅畝子、山本廣光、吉澤頼子、吉原公芳

■切手 (未使用、使用済含む) その他

石本幸江、岩田正史、上西正男・美智枝、大須賀育代、岡田満喜子、桂典子、鈴木光江、橋口頼道、藤倉寿美子、三井摂子、向山由里子、ユキミコーポレーション (株)、吉澤頼子、山田茅畝子

■ボランティア (会報、バザー、翻訳、その他)

相田陽子、赤木めぐみ、内海弘子、安藤美知子、伊藤和子、恩田和美、岡澤麻里、河原紀夫、佐伯三郎、坂詰美代子、佐々木千恵、鈴木光江、武田とよ子、富江崇、藤倉寿美子、増田憲治、南香重、向山由里子、安井博子、山田茅畝子、渡辺洋子

■編集後記

6年前、前任者から編集のバトンを受け取り、微力ながら担当させていただきましたが、今号から新スタッフの飯塚裕子さんにバトンタッチいたしました。今後とも、皆さまの「声」と現地情報をいっぱい盛り込んだニュースレターになることを願い、私は今まで同様、事務局業務を担当させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。(関根)

このたび当会のお手伝いをさせていただくことになりました飯塚裕子です。編集の仕事は初めてで、不慣れなことが多く手間どることがあると思いますが、皆さまのお知恵を拝借しながら、楽しんでいただけるものを目指していけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。(飯塚)

